

(様式第2号) 平成22年度ながさき私学魅力アップ事業実績報告書

学校法人名 (団体名)	学校法人 鶴鳴学園
学 校 名	長崎女子高等学校
所 在 地	長崎市上小島1丁目11番8号
担当者氏名 及び連絡先	山 添 和 夫 長崎市上小島1丁目11番8号 長崎女子高等学校

1 事業実績

(1) 3年間の目標(数値目標)

【1年目】

長崎市民として被爆の惨禍を学び、平和といのちの大切さを伝える。

ア 全生徒による「平和といのちを考える」50字メッセージ集の刊行。

イ 語り部講演会、生徒会主催の8・9平和集会、8・9平和コンサートの開催。

校訓「真心・創意・共生」の具現化としてのボランティア活動強化。全クラス実施

ア 第2学年、長崎さるくコースの清掃ボランティア。

イ 第1学年、福祉ボランティア及び交流学习。

ウ 龍踊部を中心とする伝統芸能の伝承と発信。

エ ボランティア活動報告集「2009 真心」の刊行と活動報告会の開催。

校訓「真心・創意・共生」の意識づくりとしての芸術鑑賞会開催。年1回以上

ア 平和学習としての芸術鑑賞会の開催。

イ アウトリーチコンサートの実施。

卒業時の進路決定100%実現。 H20 実績 95.0%

ア キャリアアップ講座の計画的な実施。

イ ジュニアインターシップの強化。

ウ 高大連携教育の充実・深化。

生徒個人面談の充実とPTAとの連携強化。 退学者10名以内

ア 生徒・保護者の在学満足度「入学してよかった」、共に85%以上とする。

イ 退学者10名以内を目指す。

ウ PTA総会出席率30%以上を目指す。

エコロジー活動の実践。

ア 電力使用量をH20年度対比8%削減する。

イ 教職員の公共交通機関による通勤等を各学期1回実施する。

職員研修の充実。 研究授業各教科年1回以上、研修会への職員参加1/3以上

ア 学校評価および授業評価の効果的な実施。

イ 自己目標設定・申告制度の計画的な実施。

ウ 研究授業各教科1回、校内外の職員研修会の充実。

【2年目】

長崎市民として被爆の惨禍を学び、平和といのちの大切さを考える。

ア 全生徒による「平和といのちを考える」真心短歌集の刊行。

イ 語り部講演会並びに原爆資料館等の見学。

ウ 生徒会主催の8・9平和集会、8・9平和コンサートの開催。

校訓「真心・創意・共生」の具現化としてボランティア活動を充実する。

ア 第1学年、清掃ボランティア及び県美術館・歴史文化博物館（龍馬伝館）見学。

イ 第2学年、福祉ボランティア及び交流学习。

ウ 龍踊部を中心とする伝統芸能の伝承と発信。

エ ボランティア活動報告集の刊行と活動報告会の開催。

校訓「真心・創意・共生」の意識づくりとして芸術鑑賞会を開催する。

卒業時の進路決定100%実現に努める。

ア 家庭学習1時間の定着と基礎学力の充実。

イ ジュニアインターシップの強化、2年生に加えて3年生も実施。

ウ 高大連携教育の充実・深化

生徒個人面談の充実に努めるとともにPTAとの連携を強化する。 退学者10名以内

ア 生徒・保護者の在学満足度「入学してよかった」、共に90%以上とする。

イ PTA総会出席率35%以上を目指す。

エコロジー活動を実践する。

職員研修の充実に努める。

ア 学校評価および自己目標設定・申告制度の継続的な実施。

イ 授業評価及び研究授業、職員研修会の計画的な実施。

【3年目】

長崎市民として被爆の惨禍を学び、平和といのちの大切さを考える。

ア 3年間の集大成として「平和といのちを考える」真心短歌集の刊行。

イ 語り部講演会並びに原爆資料館見学。

ウ 生徒会主催の8・9平和集会、8・9平和コンサートの開催。

校訓「真心・創意・共生」の具現化としてボランティア活動を実践する。

ア 第1学年、清掃ボランティア及び県美術館・歴史文化博物館（龍馬伝館）見学。

イ 第2学年、福祉ボランティア及び交流学习。

ウ 龍踊部を中心とする伝統芸能の保存と発信。

校訓「真心・創意・共生」の意識づくりとして芸術鑑賞会を開催する。

卒業時の進路決定100%実現に努める。

ア 家庭学習1時間の定着と基礎・基本の徹底。

イ ジュニアインターシップの拡大・強化。

ウ 高大連携教育の充実・深化。

生徒個人面談の充実に努めるとともにPTAとの連携を強化する。 退学者5名以内

- ア 生徒・保護者の在学満足度「入学してよかった」、共に 95%以上とする。
- イ PTA 総会出席率 40%以上を目指す。
- エコロジー活動を実践する。
- 職員研修の充実に努める。
- ア 学校評価および自己目標設定・申告制度の継続的な実施。
- イ 授業評価及び研究授業、職員研修会の計画的な実施。

(2) 3 年間の実績（数値目標の到達度等）

【1 年目】

- 長崎市民として被爆の惨禍を学び、平和といのちの大切さを伝える。
- ア 特設 LHR を 2 時間設けて原爆の惨禍について学び、50 字メッセージを作成した。
 - イ 全校生徒の「平和といのちを考える」50 字メッセージ集を刊行した。 本校初
 - ウ 語り部・谷口恵美氏を招いて「語り部講演会」を実施した。 本校初
 - エ 50 字メッセージ発表を中心とする 8・9 平和集会、平和コンサートを開催した。
 - 校訓「真心・創意・共生」の具現化としてのボランティア活動実施。
 - ア 毎日の真心運動（登校・下校時の通学路の清掃活動）を強化した。
 - イ 第 1 学年全クラスの福祉ボランティアを計画したが、インフルエンザで中止する。
 - ウ 第 2 学年全員の長崎さるくコース清掃ボランティアを実施した。 学年実施は初
 - エ 龍踊部を初め、音楽部、器楽部、インターアクトクラブが活発に活動した。
 - オ ボランティア活動報告集「²⁰⁰⁹真心」を刊行した。 本校初
 - 校訓「真心・創意・共生」の意識づくりとしての芸術鑑賞会開催。 年 2 回開催
 - ア 劇団ポプラ公演ミュージカル「火垂るの墓」（野坂昭如原作）の開催。
 - イ OMUR 室内合奏団によるアウトリーチコンサートの開催。
- 卒業時の進路決定 100%実現。 H21 実績 95%、H20 実績 95%に同じ。
- ア 進学 99%、就職 100%。国公立大合格 2 名。
 - イ 外部講師招聘によるキャリアアップ講座を計画的に実施した。 通算 6 回
 - ウ 大学訪問体験学習各学年 1 回、大学出前講座各学年 1 回、計 6 回実施した。
 - エ ジュニアインターンシップに 2 年生 16 名が参加し、総合学習 1 単位を認定した。
 - オ 市内外で活躍する卒業生の激励及び追跡調査を行った。
- 生徒個人面談の充実と PTA との連携強化 退学者 10 名
- ア 「入学してよかった」生徒 84%、保護者 92%。保護者は目標値 85%を超えたが、生徒はわずかに 1%及ばなかった。
 - イ PTA 総会出席率 30%以上を目指し、32%の参加率であった。
- エコロジー活動の実践
- ア 電力使用量を H20 年度対比 10%削減した。
 - イ 教職員の公共交通機関による通勤等を各学期 1 回実施した。
- 職員研修の充実
- ア 教職員・生徒・保護者による学校評価を実施した。教職員は前期・後期 2 回。

- イ 生徒による授業評価を全講座で実施した。 9教科 162講座
- ウ 自己目標設定・申告制度を計画的に実施した。
- エ 研究授業は1回しかできなかったが、対外教科研修会に9名参加した。

【2年目】

長崎市民として被爆の惨禍を学び、平和といのちの大切さを考える。

- ア 全生徒による「平和といのちを考える」短歌を作成し短歌集「共生」を刊行した。
 - イ 第1学年の原爆資料館見学、全校生徒の語り部講演会を開催した。
 - ウ 生徒会主催の8・9平和集会、音楽・器楽部の8・9平和コンサートを開催した。
- 校訓「真心・創意・共生」の具現化としてボランティア活動を充実する。
- ア 第1学年、街歩き清掃ボランティア並びに県美術館訪問による地域理解を深めた。
 - イ 第2学年、地域6施設及び1特別支援学校を訪問しボランティア活動を行った。
 - ウ 龍踊の伝統芸能を伝承し、各種イベントに参加して町興しボランティアに努めた。
 - エ ボランティア活動報告会を開催するとともに活動報告集「2010 真心」を刊行した。
- 校訓「真心・創意・共生」の意識づくりとして地域ぐるみで芸術鑑賞会を開催した。
- ア 「アジアン芸術夢公演」の開催。
 - イ OMUR 室内合奏団によるアウトリーチコンサートの開催。

卒業時の進路決定 100%実現に努める。

- ア 進学 100%、就職 80%。国公立大合格 6名。
- イ 外部講師招聘によるキャリアアップ講座を計画的に実施した。 通算 6回
- ウ 大学訪問体験学習各学年 1回、大学出前講座各学年 1回、計 6回実施した。
- エ ジュニアインターシップを強化し、2年生及び3年生 58名が参加した。
- オ 長崎女子短期大学を始め高大連携教育の充実・深化に努めた。

生徒個人面談の充実に努めるとともに PTA との連携を強化した。 退学者 9名

- ア 在学満足度「入学してよかった」、保護者 92%、生徒 90%、共に 90%を超えた。
 - イ PTA 総会出席率は、1年 36、2年 20、3年 39、計 31%で目標 35%に届かず。
- エコロジー活動を実践する。

職員研修の充実に努める。

- ア 学校評価及び自己目標設定・申告制度を昨年度の試行に続き実施した。
- イ 授業評価及び研究授業、職員研修会の計画的に実施した。

【3年目】

(計画のみで未だ実績なし)

(3) 当該年度の事業報告 については別冊資料参照

長崎市民として被爆の惨禍を学び、平和といのちの大切さを考える。

対象	期日	曜	名称・形態	具体的内容
1 学年	05/19	水	原爆資料館訪問 1	資料見学等の平和学習、1・2 組 (68)
	05/21	金	原爆資料館訪問 2	資料見学等の平和学習、3・4・5 組 (86)
全 校	05/07	金	短歌応募要領説明	応募期間、5/7 (金) ~ 6/18 (金)
	06/18	金	語り部講演会	演題「8月9日の怒りと悲しみ」 永野悦子氏 (被爆当時 16 才)
	06/25	金	短歌クラス選考	真心短歌の相互評価とクラス代表選考
	07/20	火	「2010 共生」短歌集 の刊行	全校生徒 429 名の作品集刊行、600 部
	08/09	月	平和集会	真心短歌優秀作品の発表及び表彰
音楽部 器楽部	08/09	月	平和コンサート	旧香港上海銀行長崎支店記念館

< 講師・永野悦子氏のプロフィール >

1945 年 8 月 9 日、学徒動員として勤務中に、16 歳で被爆。自宅は全焼し、戸外にいた 9 歳の弟は、全身火傷のため 3 日後に死亡。自宅で被爆した母と妹は原爆症に苦しみ、母は一命を取り留めたが、13 歳の妹は苦しんだあげく 1 カ月後に死亡。生き残った者たちの、怒り・悲しみ・淋しさを伝えたい。この目で見た原爆の恐怖、そして悲惨さを語ることによって、平和の尊さを訴え続けていきたいと思う。なお、永野悦子氏は、被爆当時、鶴鳴高等女学校の生徒であったが、被爆後の混乱のためか卒業できなかった、以来、65 年ぶりの本校訪問という。

校訓「真心・創意・共生」の具現化としてのボランティア活動実施。

対象	期日	曜	名称・形態	具体的内容
2 学年	07/15	木	福祉ボランティア	かたふち村、サンビレッジ、ワークビレッジ
	07/16	金	福祉ボランティア	延命園、恵珠苑、ひこばえ
	07/05	月	福祉ボランティア	生活福祉コースの長崎特別支援学校
1 学年	12/08	水	清掃ボランティア	清掃と県美術館・歴史文化博物館訪問
全 校	09/10	金	共生小論文募集	募集期間、9/10 (金) ~ 11/19 (金) 活動報告集「2010 真心」に掲載
	12/22	水	ボランティア報告会 ボランティア講演会	1・2 年、龍踊部のボランティア活動報告 共生小論文の表彰及び優秀作品の発表
全 校	03/01	火	真心運動	ボランティア活動報告集「2010 真心」刊行

校訓「真心・創意・共生」の意識づくりとしての芸術鑑賞会開催。 年 2 回開催

対象	期日	曜	名称・形態	具体的内容
全 校	10/19	火	芸術鑑賞会	「アジアン芸術夢公演」長崎市公会堂
2 学年	11/12	金	クラスコンサート	OMRA 室内合奏団 4 名招聘、本校音楽室

卒業時の進路決定 100%実現

ア 外部講師招聘によるキャリアアップ講座。

対象	期日	曜	講師	具体的内容(演題等)
3 学年	07/29	木	宮崎 努	「働くということ」
	07/29	木	嶋田嘉志子	「面接試験の実際・マナー講座」
	02/21	月	岩尾 至和	「ビジネス社会で働くということとは」
	02/22	火	永田あかね	「ビジネスマナーの重要性」
2 学年	06/02	水	宮崎 努	「インターンシップに参加しよう！」
	03/09	水	徳久 晶子	「進路決定まであと1年」

イ 長崎女子短大等との高大連携事業

対象	期日	曜	日程・時間	具体的内容
3 学年	06/16	水	1 日、短大	長崎女子短大体験学習、短大コース 45 名
	07/07	水	15:05 ~ 15:50	長崎女子短大出前講座、学年全員 122 名
2 学年	09/22	水	1 日、短大	長崎女子短大体験学習、短大コース 79 名
1 学年	11/12	金	3 校時から短大	長崎女子短大訪問、学年全員 154 名
	10/27	水	15:05 ~ 15:50	長崎女子短大出前講座、学年全員 154 名

ウ 2・3年生対象ジュニアインターンシップ、8/2(月)~8/4(水)

【派遣企業一覧】 総計 58 名(昨年 19)

長崎ロイヤルチエスターホテル 2、 稲佐山観光ホテル 3、 セントヒル長崎 3、 東美 3
 ロワジールホテル長崎 3、 ホテル清風 4、 ピエトロ千歳店 3、 そば幸 2、 延命園 2
 小島保育園 4、 住吉保育園 4、 聖徳保育園 4、 さくら保育園 4、 青山保育園 4
 茂木保育園 4、 くるみ幼稚園 3、 くるみ北幼稚園 3、 くるみ西幼稚園 2、 Rei2 海岸通店 1

エ 市内外で活躍する卒業生の激励及び追跡調査 進路指導主事派遣 6/6~6/9

【進路実績】 進学 102/102 (100%) 就職 16/20 (80%) 全体 118/122 (97%) 3/28 現在

種別	類別	数	主なもの
進学	国公立	6	佐賀 1、長崎県立 4、福岡県立 1
	私四大	24	活水 6、純心 5、長崎国際 2、福岡 2
	私短大	27	長崎女子短 26、香蘭 1
	専修	45	看護 6、医療系 12、情報 13、理美容 11、調理・製菓 4
就職	内定	16	自衛隊 1
	未定	4	卒業後の継続指導によって5月までに全員就職。
計		122	

生徒・保護者面談の充実に努めるとともに PTA との連携を強化する。

ア 保護者面談及び学校公開を計画的に実施し、各学年とも保護者 3 回以上の登校面談を実施できた。

イ PTA 総会に併せて教育講演会「生きる力を育む家庭の食育」を開催し、総会出席率 35%以上を目指したが、実績 31%（1 年 36、2 年 20、3 年 39）に終わる。

ウ メール配信システムの導入、家庭訪問の強化など、保護者との連携を強化して、年間退学 10 名未満を目指したが、退学者が 12 名を数えた。

エ 在学満足度「入学してよかった」、生徒 90%、保護者 92%と、共に目標値 90%を超えることができた。

エコロジー活動の展開

ア 生徒会活動として昼休み・放課後の節電を呼び掛け、電力使用量、H20 年度対比 10%、金額にして 1007,000 円と大幅に削減することができた。

イ 教職員の公共交通機関による通勤等を各学期 1 回実施した。

職員研修の充実に努める。

ア 研究授業もしくは公開授業を各教科 1 回以上実施する予定であったが、わずかに 1 教科に留まった。

イ 生徒・保護者・職員の学校評価及び職員の自己目標設定・申告制度を実施して学校目標の共有と組織的運営を推進した。

ウ 生徒による授業評価はもちろん、校外の職員研修会に計画的に参加して教職員の指導力向上を図った。延べ 11 名参加

【参加教師一覧】

夏季代々木ゼミナール授業法研究会他 7 名 岩本儀則、合田健治、土井添勢子、三角真也、松田香月、水江美奈 相川真輝（九州地区初任者研修会）
春季代々木ゼミナール授業法研究会 4 名 岩本儀則、合田健治、相川真輝、柴田鉄也

(4) 今後の課題

長崎市民として被爆の惨禍を学び、平和といのちの大切さを伝える。

ア 今年度「平和といのちを考える」短歌集を刊行した。しかし、未だ短歌の表現力が乏しい。現在の時間を詠う即時性、生活の事実を詠う即事性、生徒一人一人の感情・思考を詠う即自性を追求したい。

イ 生徒の問題意識を高めるために、原爆資料館見学、記念碑・遺跡調査、語り部講演会など、体験的な取り組みを工夫する必要がある。

校訓「真心・創意・共生」の具現化としてのボランティア活動の強化。 学年実施

ア 第 2 学年の福祉ボランティアは、6 施設に分かれて全クラスで実施できた。第 1 学年の清掃ボランティアも県美術館訪問と併せて予定通り実施した。学年・クラ

スの取組を学校全体の取組とするため報告会も開催したが、準備・運営の段階から生徒の活動にするための工夫が必要である。

イ 本校龍踊部は、鶴鳴の「赤龍」として各地のイベントに招かれて長崎アピールの一役を担っている。今後とも特色ある学校づくりの一環として長崎の伝統芸能の伝承と町おこしに貢献したい。

校訓「真心・創意・共生」の意識づくりとしての芸術鑑賞会開催。 年1回以上

ア 今年度は予定通り10月19日に公会堂で実施した。福祉ボランティアで訪問した6施設にも案内し、地域ぐるみの鑑賞会を企画したが、まだ参加者が少ない。来年度は更に呼び掛けを強化したい。

イ 来年度は、「真心・創意・共生」の「創意」をテーマとして、演劇を計画している。卒業時の進路決定100%実現。

ア 進学希望者102名中102名決定(100%)、就職希望者20名中16名決定(80%)、全体では97%の進路実現となる。

イ インターンシップは、昨年度対比3倍強の参加者を得た。今後も継続したい。

ウ とにかく就職氷河期の就職実現をどうするか、生徒も教職員も覚悟を深め、学校挙げて取り組む必要がある。

生徒個人面談の充実とPTAとの連携強化。 退学者10名以内

ア 生徒の多様化に教職員の指導力が追いつかない。低学力、不登校など、家庭環境そのものに問題を抱える生徒も少なくない。入学当初からの休学者2名も結果的に退学して、年間退学者12名、病死1名もあり、なかなか厳しい状況である。

イ PTA 総会もなかなか出席率が上がらない。講演会を導入して総会の魅力アップを工夫しているが、講師の人選が難しい。PTA 役員の御意見を伺いたいものである。

ウ 遅刻、欠席の兆候を見逃さないばかりか、家庭訪問・保護者相談を学校ぐるみで粘り強く指導する体制を固め、退学者10名以内を目指したい。

エコロジー活動の実践。 電力使用量をH20年度対比10%削減

ア 地球温暖化の影響か、電力使用量削減は、極めて良好に推移している。教室使用環境を更に整備して節電に努めたい。

イ 教職員のノーカーデイも生徒の登校指導と併せて今後取り組みを強化したい。

職員研修の充実。

ア 教職員・生徒・保護者による学校評価を実施した。教職員は前期・後期2回。

イ 生徒による授業評価を全講座で実施した。 9教科158講座

ウ 自己目標設定・申告制度を計画的に実施した。

2 学校関係者評価

(1) 事業実績に対する学校評価

職員会議で当該年度の実績を配布して説明した後、別表1の評価表を配布して職員の自己評価を行う。

評価結果については、別表1の「内部」参照。

(2) 学校関係者評価委員会の構成 6名

PTA 会長	牧 嶋 公 美
PTA 副会長	香 月 美 香
同窓会長	毛 利 宣 子

PTA 副会長	岡 本 美 樹
PTA 副会長	下 町 純 子
小島中学校長	中 平 良 一

(3) 学校関係者評価委員会の評価 平成 23 年 3 月 1 日（火）

3 月 1 日（火）卒業式後、短歌集「共生」及び報告集「2010 真心」に基づき事業報告を行い、事業評価表及び感想・意見用紙を配布して、後日送り返してもらう。

評価結果については、別表 1 の「外部」参照、以下は感想及び意見。

< 平和といのちを考える取組み > 評価委員の言葉から

- 「2010 真心」、「2010 共生」、掲載の「写真」に魂を感じます。素晴らしいと思います。全校生徒による平和といのちを考える真心短歌集の完成、永野悦子先輩の悲しみに耐えて語ってくれた体験記等、一人ひとりの声は小さくても将来大きな希望の叫びとなることでしょう。
- 胸を打つとてもいい短歌がありました。生徒さんの感性の豊かさに感動しました。
- 生徒が平和・命について、様々な思いを抱き関心を持っていることにとても嬉しく思った。

< ボランティア活動の取組み >

- 全校生徒としての取組みに敬意を表します。担当の先生方のチームワーク振りや、一人ひとりの生徒が「共生」について考え表現したこと、「2010 真心」誌のパソコン入力作業を行った生徒会の皆さん、長崎女子高校の総力の現れだと思えます。福祉ボランティアの拙園（延命園）での体験時、嬉しさのあまり涙を溜めた利用者のスナップ写真もありました。私自身は、「共生」とは互いの違いを認め合うことだと思えます。
- 作文が皆さん上手でびっくりしました。自分の主張をはっきりとわかりやすく伝えることのできる、表現力のある生徒さんが多いのだと思えました。
- 年間の学校行事やボランティア活動が、カラーページを多く載せることで、文章では伝わりにくい状況や表情等がとても強く感じ取れて良かった。

< PTA 活動及び保護者連携 >

- 総会時に、人づくりや子育ての記念講演を行う、生徒たちのアトラクション（龍踊、器楽演奏、コーラス）を披露することで出席率を向上させることはできないか。
- とにかく会員同士「ぜひ参加しましょう」と呼び掛けていくしかないようです。
- 土曜日で出席しやすいと思っています。

(4) 学校法人理事会報告日 平成 23 年 3 月 23 日（火）

(5) 学校法人評議員会報告日 平成 23 年 3 月 23 日（火）

<別表1> 平成22年度魅力アップ事業評価（内部評価・外部評価）

評価基準 [4:十分達成 3:おおむね達成 2:どちらかというも未達成 1:達成していない]

事業		評価項目（具体的事業）	内部	外部
(1) 平和 学習	1	ア 第1学年の原爆資料館見学を実施する。	3.9	3.3
	2	イ 本校ゆかりの先輩語り部を招いて講演会を開催する。	3.9	3.7
	3	ウ 「平和といのちを考える」真心短歌を作成し、作品集を刊行する。	3.9	4.0
	4	エ 8・9 平和集会、平和コンサートを開催する。	3.9	3.3
(2) 真心 運動	5	ア 毎日の真心運動（登校・下校時の通学路の清掃活動）を強化する。	2.6	3.7
	6	イ 第2学年全クラスの福祉施設訪問ボランティアを実施する。	4.0	4.0
	7	ウ 第1学年全員の長崎さるくコース清掃ボランティアを実施する。	4.0	3.7
	8	エ 各学年及びコースのボランティア活動の全体報告会を実施する。	3.4	3.7
	9	オ ボランティア活動報告集「2010 真心」を刊行する。	4.0	4.0
(3) 芸術 鑑賞	10	ア 雅夢主催の「アジア芸術夢公演」を開催する。	3.7	4.0
	11	イ OMUR 室内合奏団によるアウトリーチコンサートを開催する。	3.6	3.7
(4) 進路 指導	12	ア 100%の進路実現並びに国公立大合格10名以上を目指す。	2.4	3.7
	13	イ 外部講師招聘によるキャリアアップ講座を計画的に開催する。	3.3	3.3
	14	ウ 長崎女子短大はじめ県内大学等との高大連携を計画的に実施する。	2.7	3.7
	15	エ 2・3年生対象ジュニアインターンシップを実施する。	4.0	3.3
(5) PTA 連携	16	ア 学校評価「入学してよかった」生徒・保護者共に90%以上を目指す。	3.1	3.7
	17	イ PTA 総会出席率35%を目指す。	2.6	3.3
(6) 環境 保全	18	ア 電力使用量、H20年度対比10%削減する。	3.6	3.3
	19	イ 教職員の公共交通機関による通勤等各学期1回実施する。	2.3	3.3
(7) 職員 研修	20	ア 教職員・生徒・保護者による学校評価を実施する。	3.6	3.3
	21	イ 生徒による授業評価を実施する。	3.7	2.7
	22	ウ 自己目標設定・申告制度を計画的に実施する。	3.7	3.3
	23	エ 研究授業（公開授業）を各教科1回以上実施する。	1.9	3.7

「真心短歌集」、ボランティア活動報告集「2010 真心」は全校生徒並びに全職員に配布した。